（別紙）「実践発表」の実施について

１．グループ編成（予定）
○島根県教育センター【松江・出雲・隠岐】（２７人）
○浜田教育センター【浜田・益田】（１７人）
　＊６・７人程度のグループ内で発表します。

２．実践発表内容・方法
（１）内容
　第１回ミドルリーダー育成研修の２日目の最終プログラム「課題研究」で協議した内容等をもとにした実践発表をしていただきます。
　　例「若手を巻き込んだ○○の実践」等
　課題研究で協議したテーマと実際の実践が異なっても構いません。その場合、**実践したこと**について発表してください。なお、来年度以降の見通し等もあわせて示してください。

（２）方法
　発表方法は指定しません。自由な形式で発表してください。プレゼンテーションソフトを使用される場合は、パソコン（windows）・プロジェクター・スクリーン等は各会場に準備しますが、バージョン等によってうまく動かない場合もありますので、念のためパソコンを持参されることをおすすめします。
※ Ａ４用紙１枚でもかまいません。パワポ資料は５～６スライド程度で。

３．実践発表・意見交換の進め方
（１）一人ずつ発表、質疑応答、意見交換をしてください。
　　（一人あたりの時間の目安：**発表１０分以内**、質疑応答・意見交換５分以内）
（２）進行役を１名決め、休憩時間も含め、適宜時間配分を行い進行してください。

４．配付資料
　資料に学校名、氏名を明記の上、松江会場参加者は**３５部**、浜田会場参加者は**２５部**を準備し、当日持って来てください。（※貴重な実践を、他の受講者にも共有する）

担当：島根県教育センター　企画・研修スタッフ　福井道明
fukui-michiaki@edu.pref.shimane.jp